

同 志 社 大 学

2010 年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2011 年 3 月 11 日提出

所 属	職 名	氏 名
グローバル研究科	教授	佐々木 隆
研 究 題 目	世紀転換期のアンティモダニズム	
研 究 成 果 の 概 要	<p>2010 年度の研究課題は、Johan Huizinga, Jacob Burckhardt, Carl E. Schorske らの先好業績を踏まえて、「アンティモダニズム論」の総論部分をさらに補強することであった。</p> <p>しかし、本年度は、国立西洋美術館創立 50 周年行事の一環として開催された「フランク・ブラングイン展」およびそれに付随した連続講演会により、私の「アンティモダニズム」研究は思わぬ展開をすることになった。</p> <p>すなわち、上記展覧会は、国立西洋美術館の基礎となった松方コレクションの形成過程とイギリス人芸術家、フランク・ブラングインの出会いに焦点をあてた展覧会であったが、近代造船業創業の立役者、松方幸次郎の近代主義と、Frank Brangwyn のアンティモダニズムの邂逅はきわめて興味深い。</p> <p>これまでは、「世紀転換期アメリカのアンティモダニズム」に焦点をしばって研究を進め、日本の近代主義、反近代主義を顧みる余裕はなかったが、上記展覧会は、日本における近代国家の成立と文化形成の問題を考えるきっかけを与えてくれた。</p> <p>研究に必要な資料の検討も順調に進んでおり、2011 年度には、成果を論文の形で発表したい。</p>	